

柏 崎 市

男女共同参画に関する中学生意識調査

報 告 書

令和2年（2020年）2月

柏 崎 市

目次

I	調査概要	1
II	回答者の属性	
	▶ 問 1 性別について	2
	▶ 問 2 祖父母との同居について	2
III	調査結果	
	▶ 問 3 性別のらしさについて	3
	▶ 問 4 具体的な性別のらしさについて	4
	▶ 問 5 家庭での手伝い状況について	6
	▶ 問 6 家事のふさわしい人について	7
	▶ 問 7 男女の役割について	8
	▶ 問 8 男女の役割の理由について	9
	▶ 問 9 具体的な男女の役割について	10
	▶ 問 10 男女平等について	11
	▶ 問 11 進学希望について	12
	▶ 問 12 女性が職業を持つことについて	13
	▶ 問 13 男女平等の考えについて	14

I 調査概要

1 調査の目的

この調査は、柏崎市男女共同参画基本計画（かしわざき男女共同参画プラン）の見直しにあたり、中学生の男女共同参画に関する意識や考え方、現状等を把握し、令和3年度（2021年度）を初年度とする次期計画策定に向けた基礎資料とするものです。

2 調査対象

柏崎市立中学校に通う3年生の生徒全員

3 調査方法

各学校を通して配布、回収（無記名）

4 調査期間

令和元年（2019年）9月2日～9月13日

5 回収結果

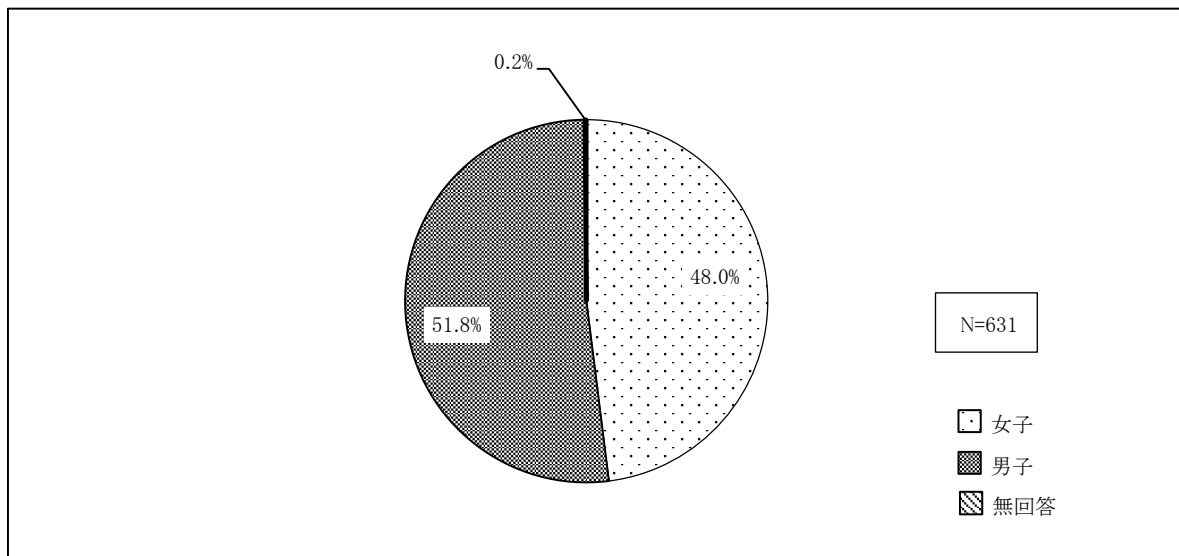
- ❖ 配布数 : 661人
- ❖ 有効回収数 : 631人
- ❖ 回収率 : 95.5%

6 集計結果の見方

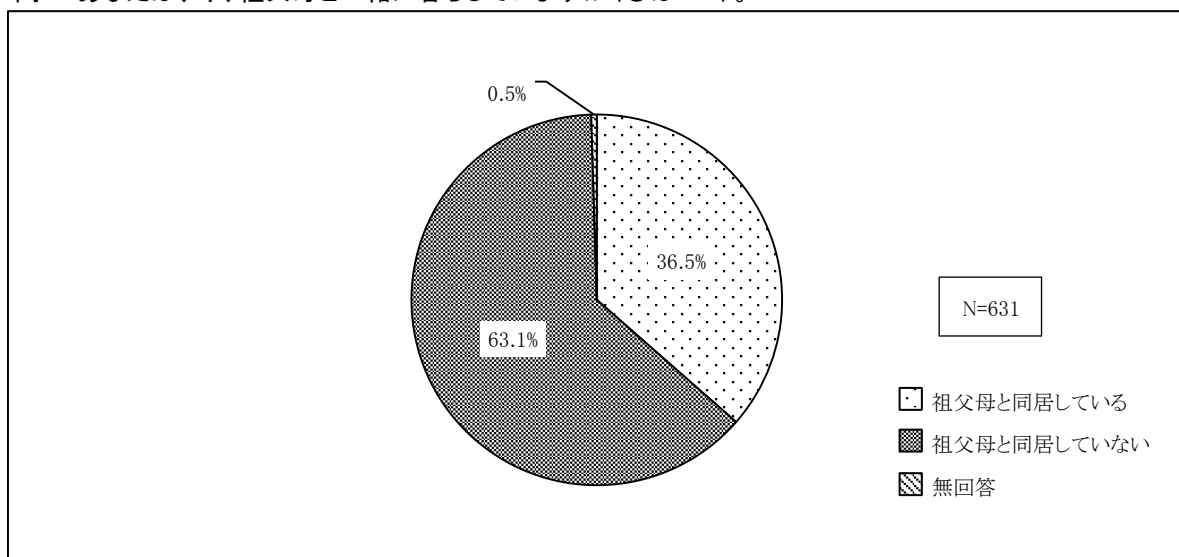
- ❖ 百分率（%）は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。したがって、回答率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ❖ 複数回答（2つ以上選んでよい問）については、回答率の合計が100%を超える場合があります。
- ❖ 図表中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）です。標本全数を「N」、該当数を「n」で表記しています。
- ❖ 前回比較とは、平成26年（2014年）に同様の調査を行ったものと比較したものです。

II 回答者の属性

問1 あなたの性別はどちらですか(○は1つ)。

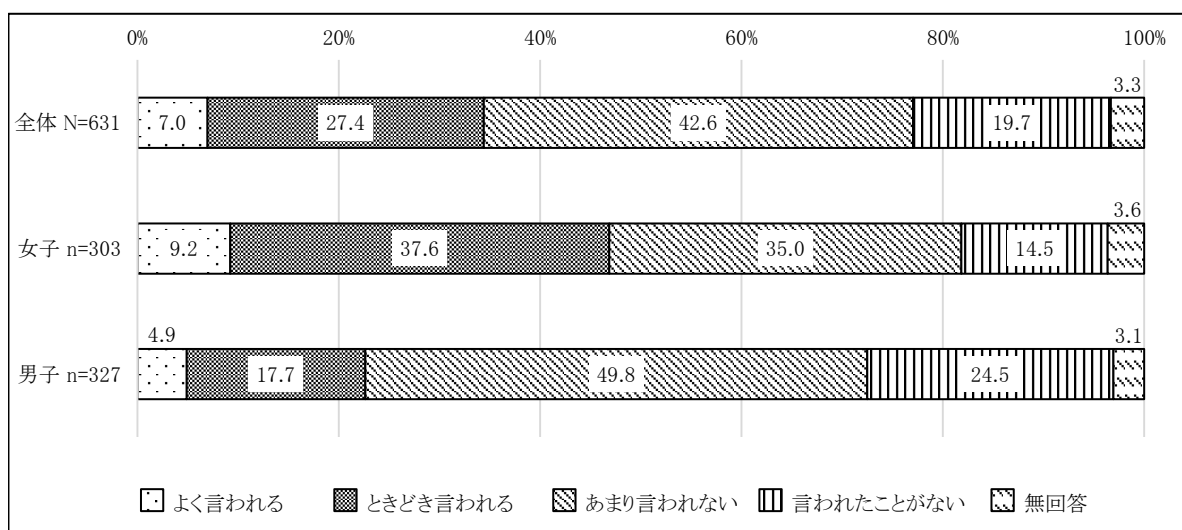


問2 あなたは、今、祖父母と一緒に暮らしていますか(○は1つ)。



Ⅲ 調査結果

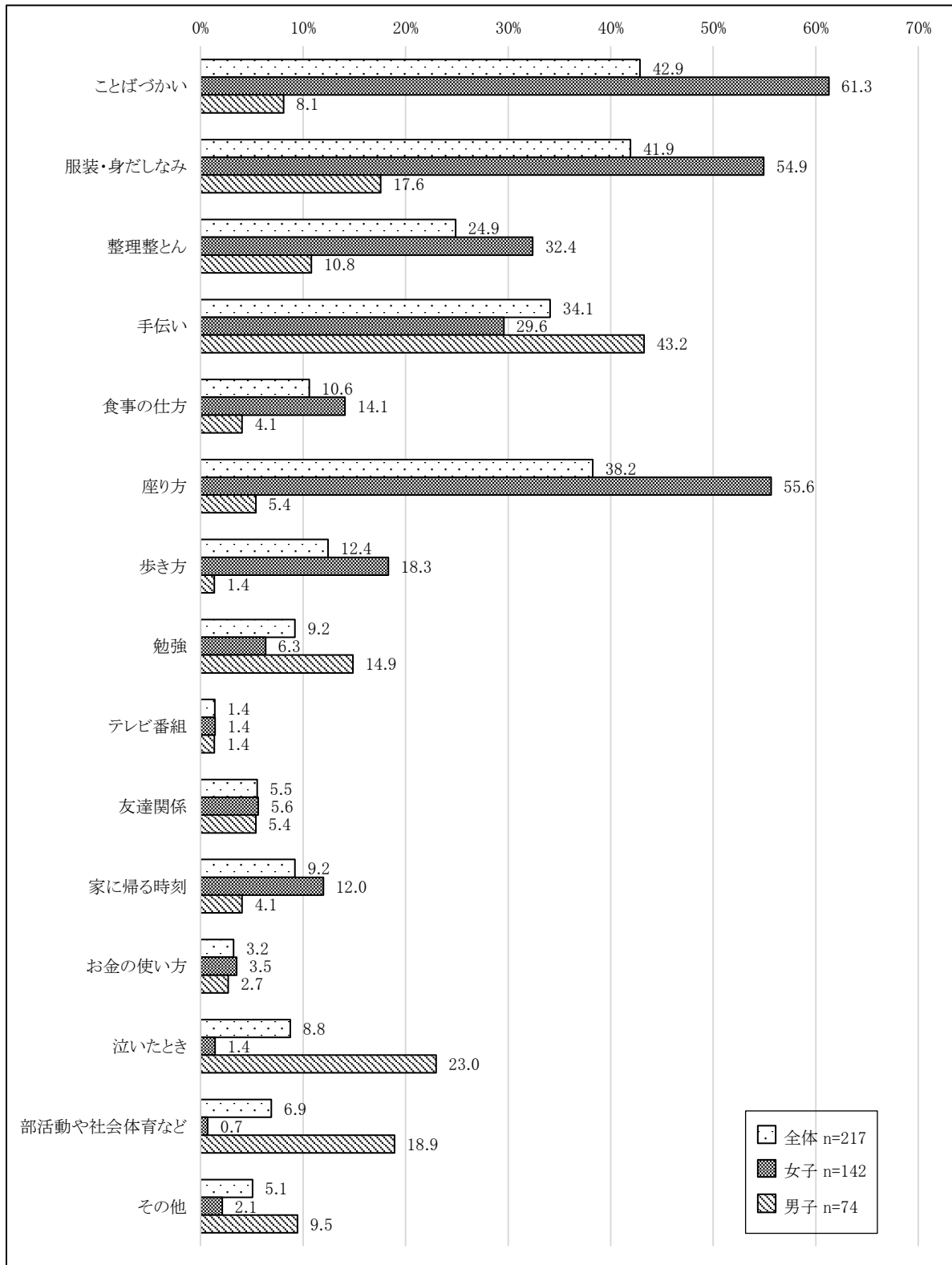
問3 あなたは「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか
 (〇は1つだけ)。



性別役割分担意識に対する言動については、全体では『言われる』（「よく言われる」＋「ときどき言われる」）が34.4%、『言われたい』（「あまり言われたい」＋「言われたことがない」）が62.3%となっている。

性別にみると、女子は『言われる』が46.8%に対して、『言われたい』は49.5%となっている。一方、男子は『言われる』が22.6%に対して『言われたい』は74.3%となっている。『言われる』は女子が男子より約24ポイント高くなっている。

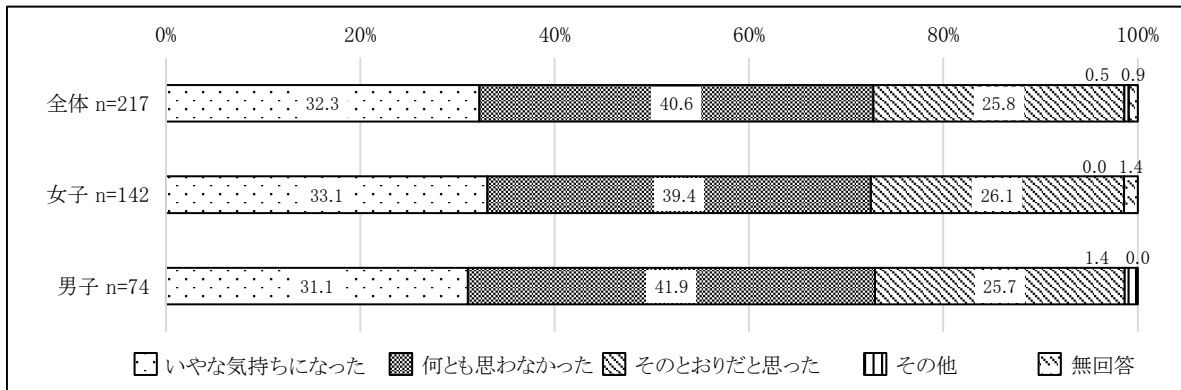
問4-① 問3で「1 よく言われる」「2 ときどき言われる」と答えた方にお聞きします。
 どんなことで言われましたか(〇は当てはまるもの全て)。



性別役割分担意識に対する言動の内容は、「ことばづかい」(42.9%)が最も多く、次いで「服装・身だしなみ」(41.9%)、「座り方」(38.2%)となっている。

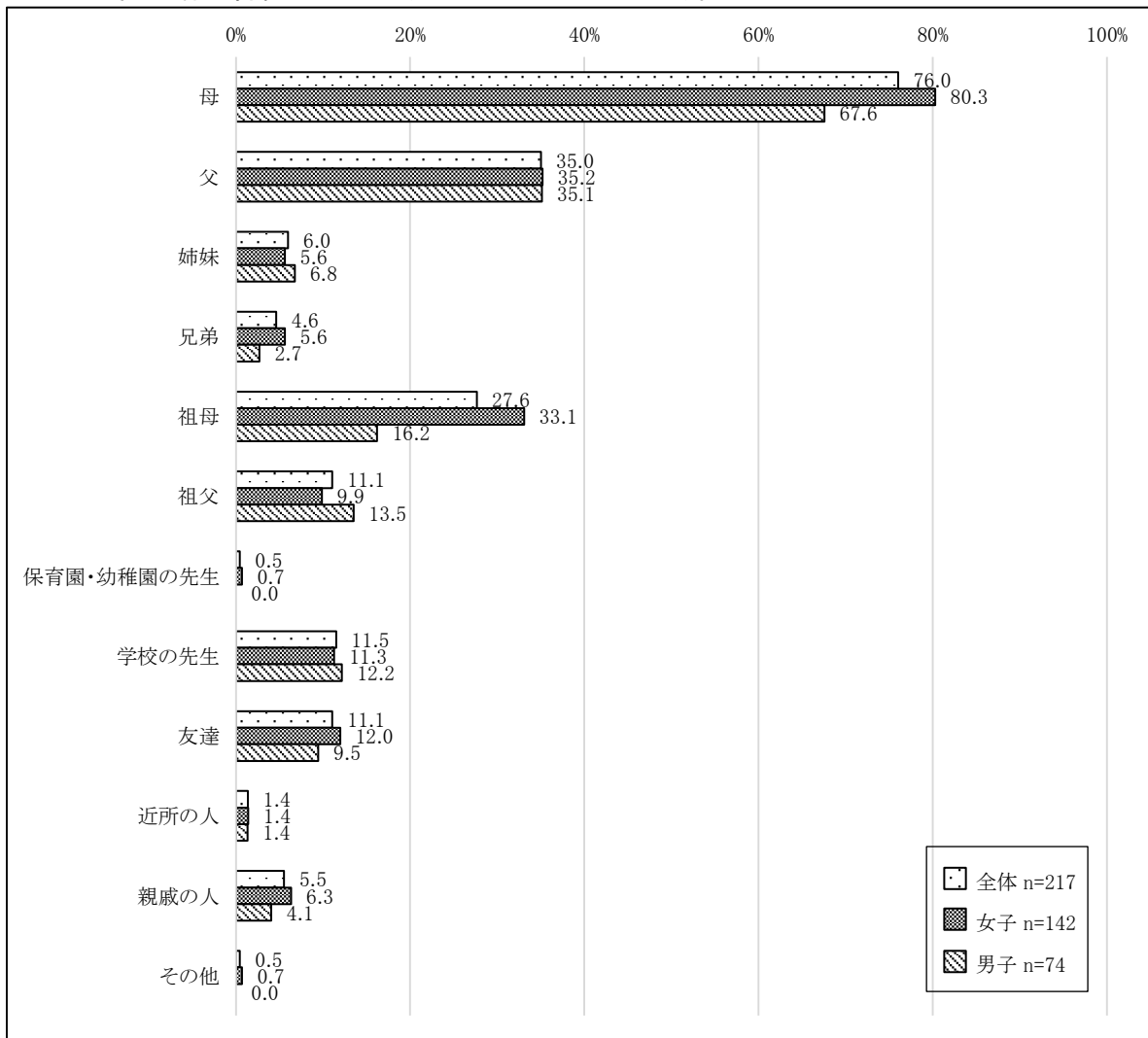
性別にみると、女子は「ことばづかい」(61.3%)が最も多く、次いで「座り方」(55.6%)となっている。一方、男子は「手伝い」(43.2%)が最も多く、次いで「泣いたとき」(23.0%)となっている。「ことばづかい」「座り方」「服装・身だしなみ」「整理整頓」「歩き方」は女子の方が男子より10ポイント以上高くなっている。また、「手伝い」「泣いたとき」「部活動や社会体育など」「勉強」は男子の方が女子よりも高くなっており、男女で大きな違いがみられる。

問4-② 問3で「1 よく言われる」「2 ときどき言われる」と答えた方にお聞きします。
言われた時、どんな気持ちになりましたか(○は1つ)。



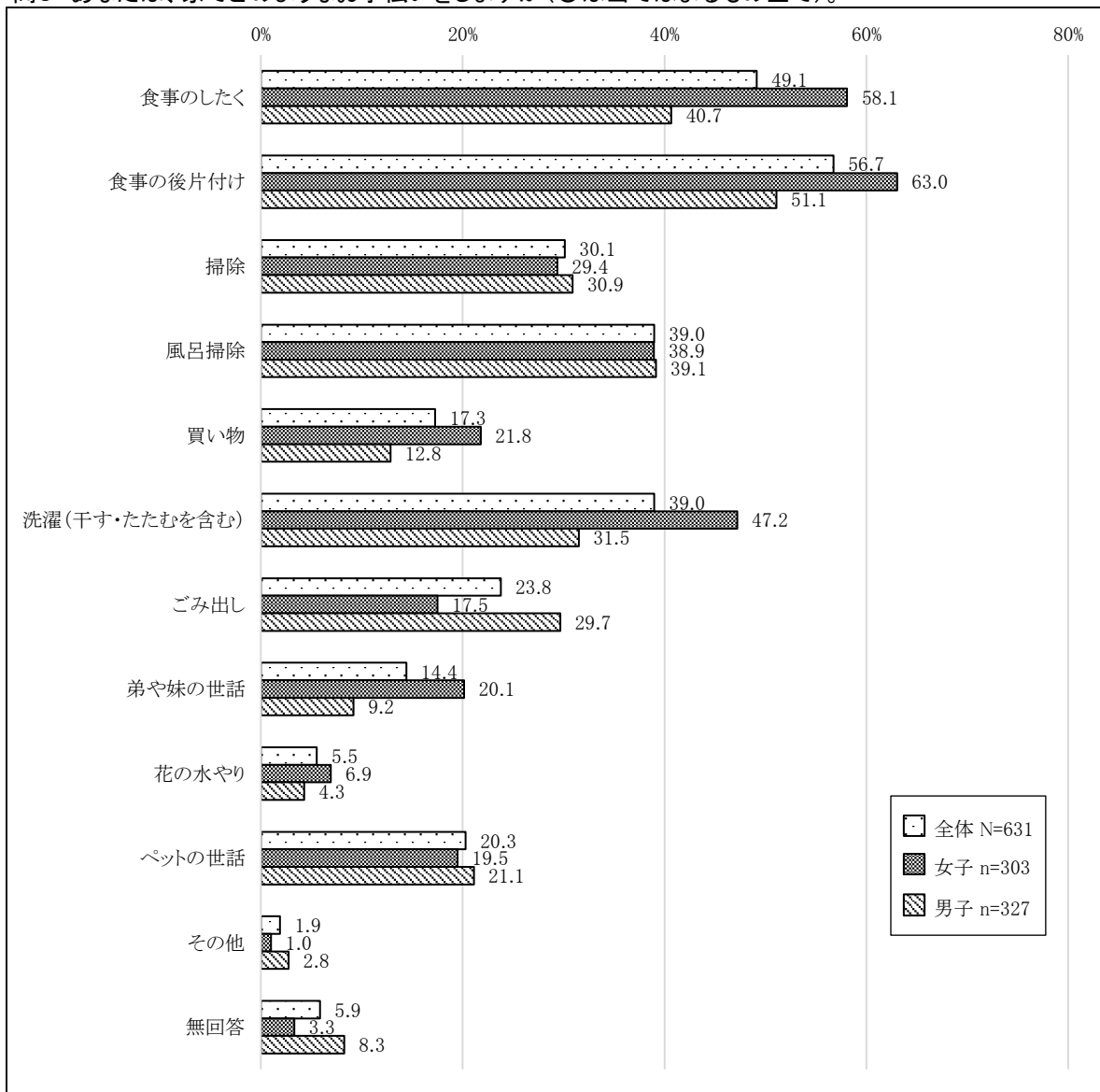
性別役割分担意識に対する言動による影響について性別にみると、男女ともに「何とも思わなかった」(女子39.4%、男子41.9%)が最も高くなっている。次いで「いやな気持ちになった」(女子33.1%、男子31.1%)となっている。

問4-③ 問3で「1 よく言われる」「2 ときどき言われる」と答えた方にお聞きします。
それは誰に言われましたか(○は当てはまるもの全て)。



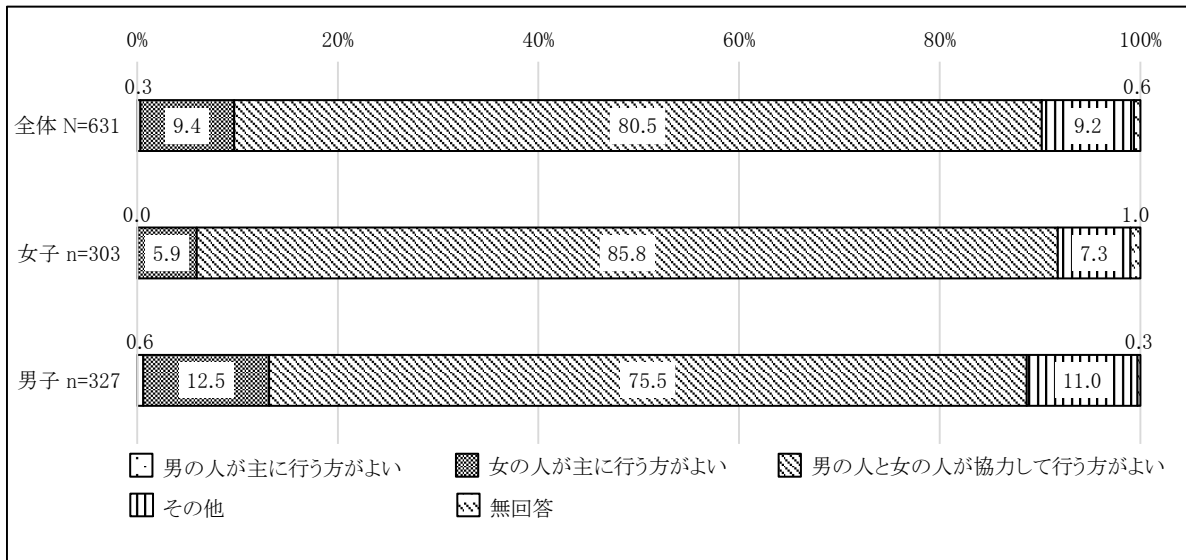
性別役割分担意識に対する言動の行為者について性別にみると、男女ともに「母」(女子80.3%、男子67.6%)が最も多くなっており、次いで「父」(女子35.2%、男子35.1%)となっている。「祖母」は女子33.1%に対して男子16.2%となっており、女子の方が男子より約17ポイント高くなっている。

問5 あなたは、家でどのようなお手伝いをしますか(○は当てはまるもの全て)。

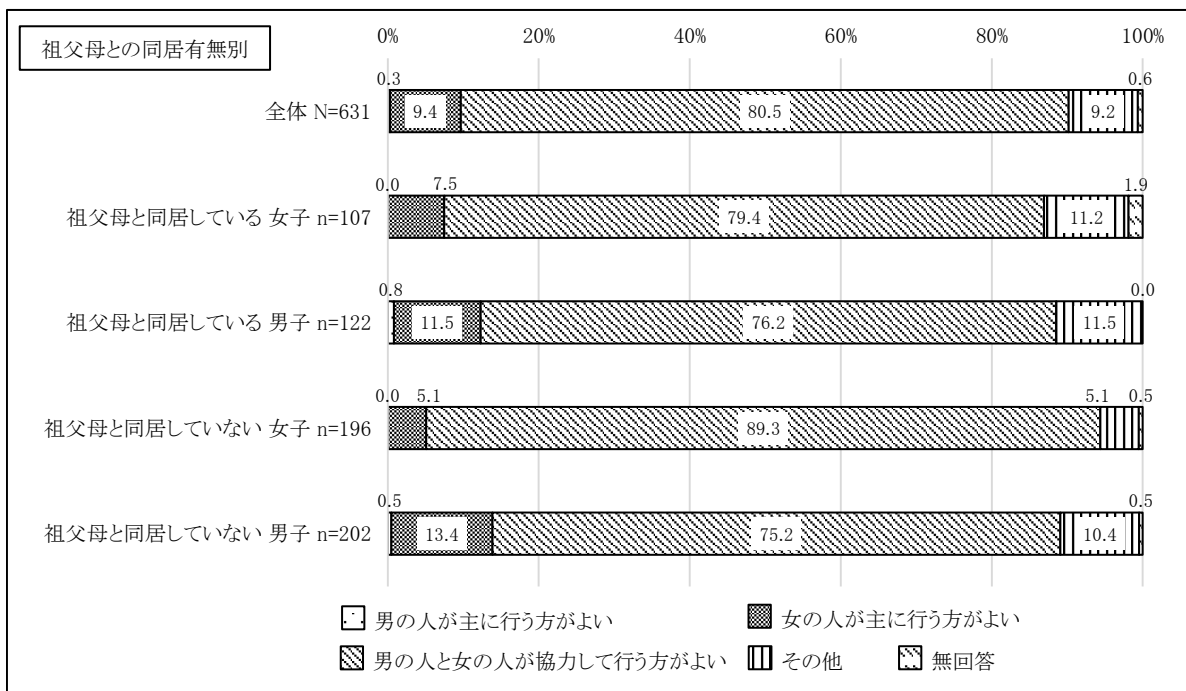


家庭でのお手伝いについて性別にみると、男女ともに「食事の後片付け」(女子63.0%、男子51.1%)が最も多くなっている。「食事の後片付け」、「食事のしたく」(女子58.1%、男子40.7%)、「洗濯」(女子47.2%、男子31.5%)、「弟や妹の世話」(女子20.1%、男子9.2%)は女子の方が男子より10ポイント以上高くなっている。「ごみ出し」(女子17.5%、男子29.7%)については男子の方が女子より10ポイント以上高くなっている。

問6 あなたは家の中で、食事のしたくや掃除、洗濯のような家事は、誰がやるのが一番よいと思いますか
(○は1つ)。

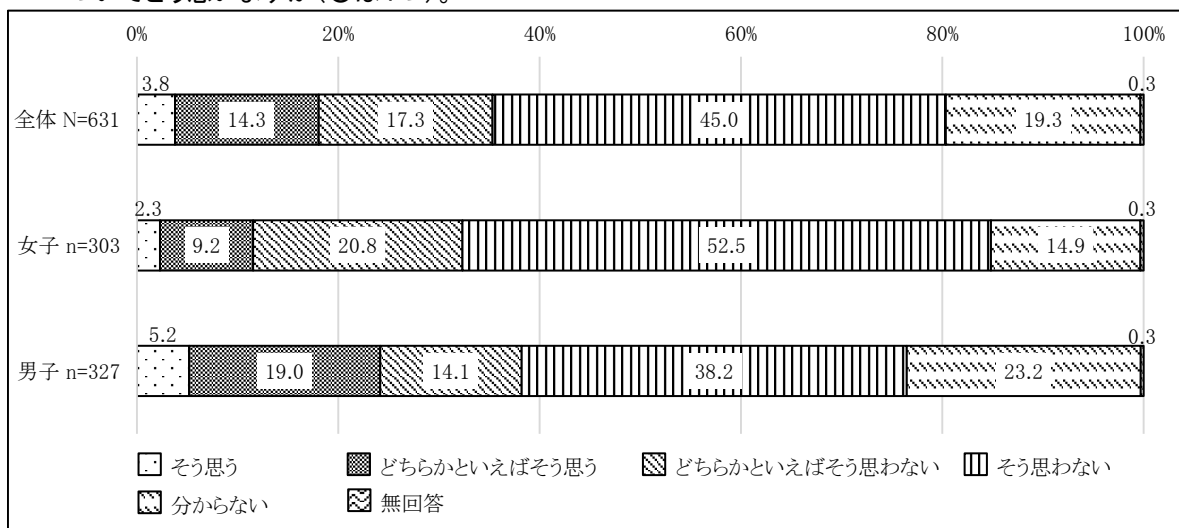


家庭での役割分担についてみると、全体では「男の人と女の人が協力して行う方がよい」(80.5%)が約8割を占めている。性別にみると「男の人と女の人が協力して行う方がよい」は女子85.8%に対して男子75.5%となっており、女子の方が男子より約10ポイント高くなっている。



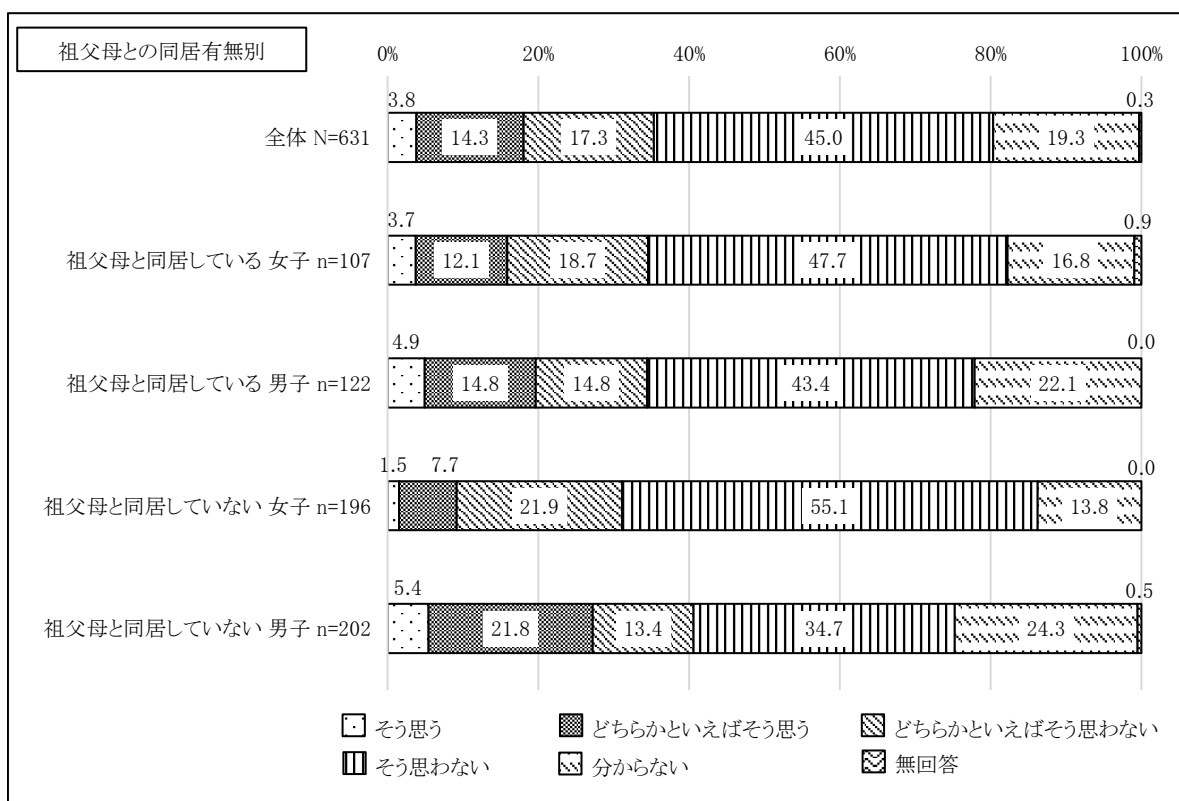
祖父母と同居の有無別にみると、「男の人と女の人が協力して行う方がよい」が同居している女子は79.4%、同居していない女子は89.3%となっており、同居していない女子の方が高くなっている。一方、同居している男子は76.2%、同居していない男子は75.2%となっており、同居している男子の方がやや高い。

問7 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか(○は1つ)。



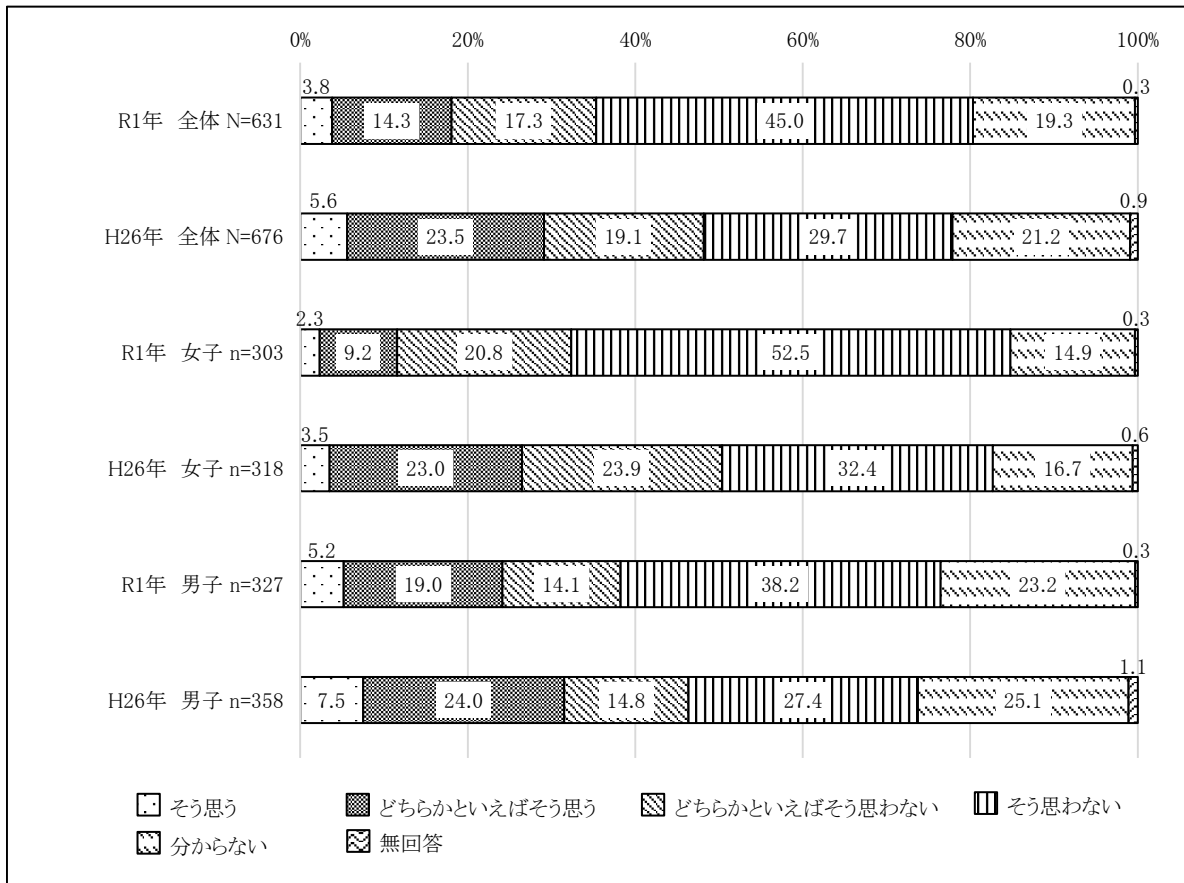
「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について、「そう思わない」(45.0%)と「どちらかといえばそう思わない」(17.3%)を合わせた『そう思わない』が62.3%、「そう思う」(3.8%)と「どちらかといえばそう思う」(14.3%)を合わせた『そう思う』が18.1%となっている。性別にみると、『そう思わない』は女子73.3%、男子52.3%となっており、男女で大きな差がみられる。

市民意識調査の「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」の結果と比較すると、男女ともに『そう思わない』が市民意識調査の結果(女性76.1%、男性68.9%)よりも低くなっている。



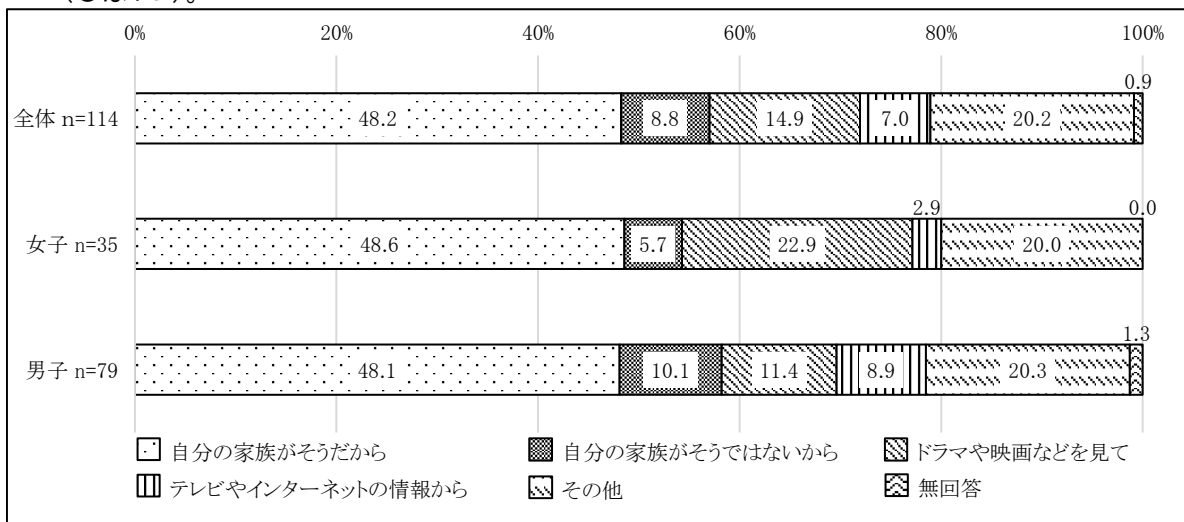
祖父母と同居の有無別にみると、『そう思う』が同居している女子は15.8%、同居していない女子は9.2%となっており、同居している女子の方が「賛成」の傾向が強い。一方、同居している男子は19.7%、同居していない男子は27.2%となっており、同居していない男子の方が「賛成」の傾向が強い。

問7 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか(○は1つ)。



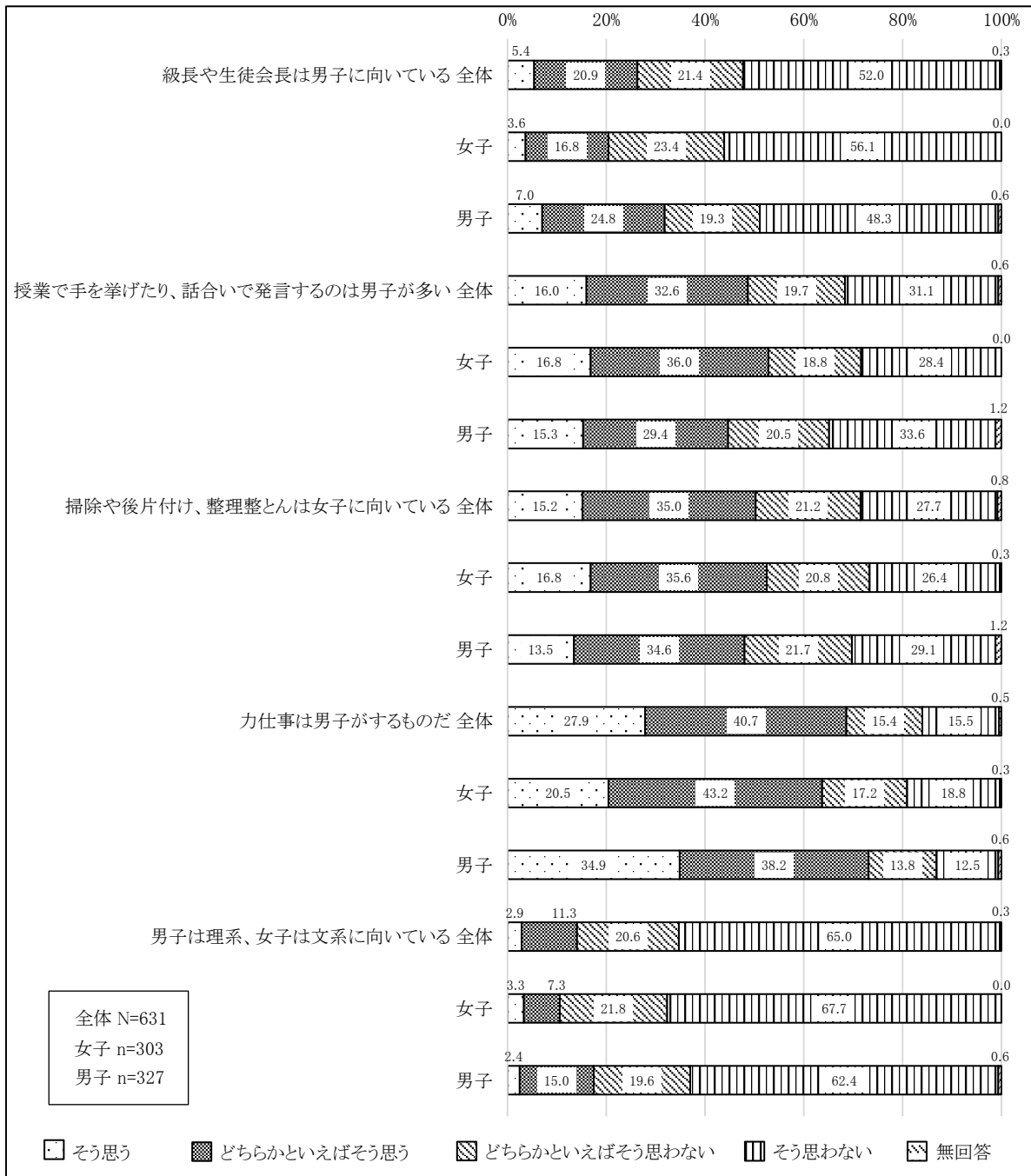
前回と調査結果と比較すると、男女ともに『そう思う』人の割合が減少し、『そう思わない』人の割合が増加している。

問8 問7で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。どうしてそう思いますか(○は1つ)。



「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方に「賛成」の理由を性別にみると、男女ともに「自分の家族がそうだから」(女子48.6%、男子48.1%)が最も高く、次いで「ドラマや映画などを見て」(女子22.9%、男子11.4%)となっている。

問9 あなたは、次のような考えについてどう思いますか。1～5それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください(○はそれぞれ1つ)。



「級長や生徒会長は男子に向いている」という考えについてみると、全体では『そう思わない』が73.4%となっている。性別にみると、『そう思わない』が女子79.5%、男子67.6%となっており、女子の方が男子より約12ポイント高くなっている。

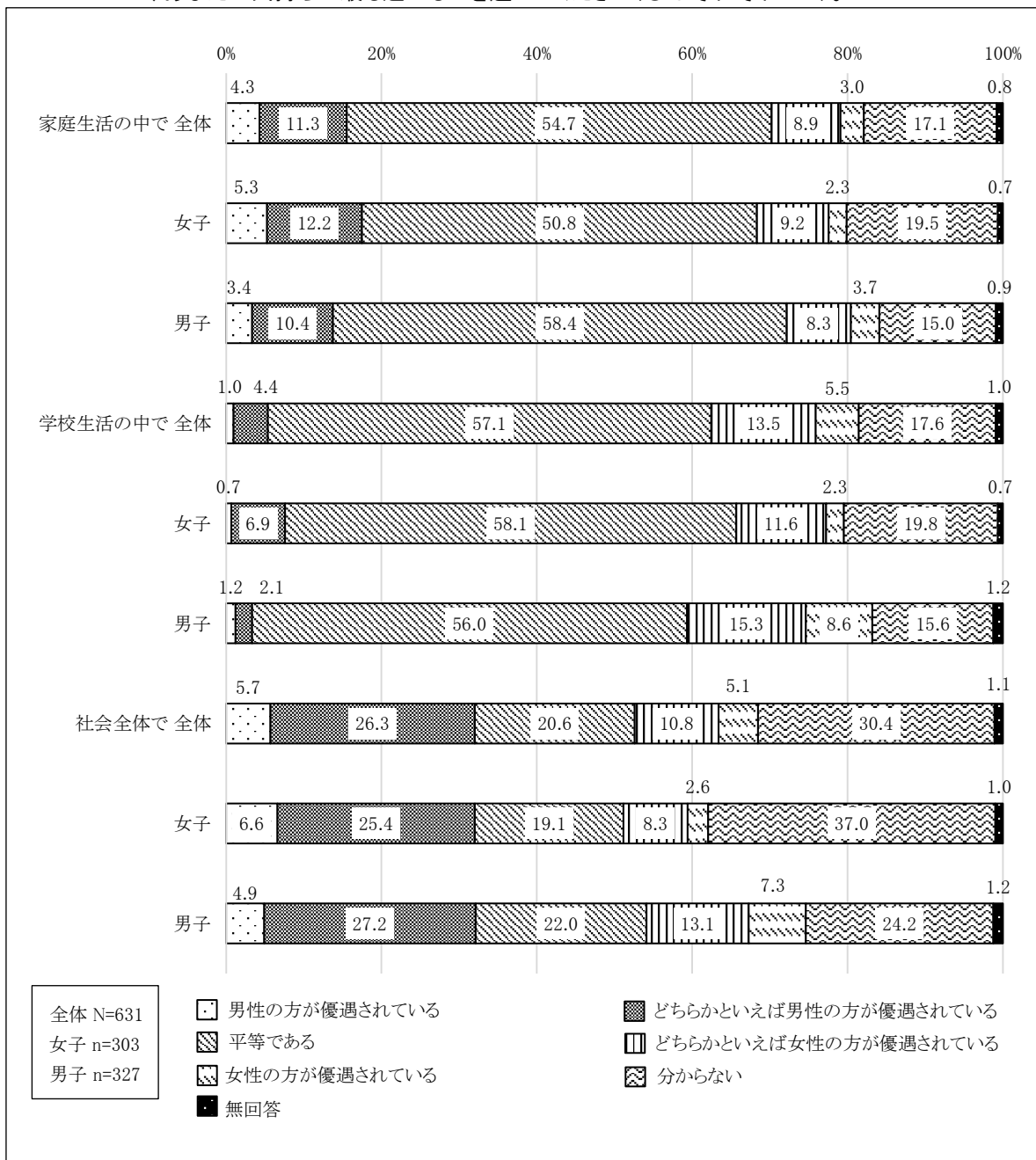
「授業で手を挙げたり、話合いで発言するのは男子が多い」という考えについてみると、全体では『そう思わない』が50.8%となっている。性別にみると、女子は『そう思わない』(47.2%)に対して『そう思う』(52.8%)となっている。一方、男子は『そう思わない』(54.1%)に対して『そう思う』(44.7%)となっており、男女で差がみられる。

「掃除や後片付け、整理整頓は女子に向いている」という考えについてみると、全体では『そう思う』が50.2%となっている。性別にみると、『そう思う』が女子52.4%、男子48.1%となっており、女子が男子を上回っている。

「力仕事は男子がするものだ」という考えについてみると、全体では『そう思う』が68.6%となっている。性別にみると、『そう思う』が女子63.7%、男子73.1%となっており、男子が女子を上回っている。

「男子は理系、女子は文系に向いている」という考えについてみると、全体では『そう思わない』が85.6%となっている。性別にみると、『そう思わない』が女子89.5%、男子82.0%となっており、男女ともに8割を超えている。

問10 あなたは、今の社会で男女は平等になっていると思いますか。次の1～3それぞれの分野について、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください(○はそれぞれ1つ)。

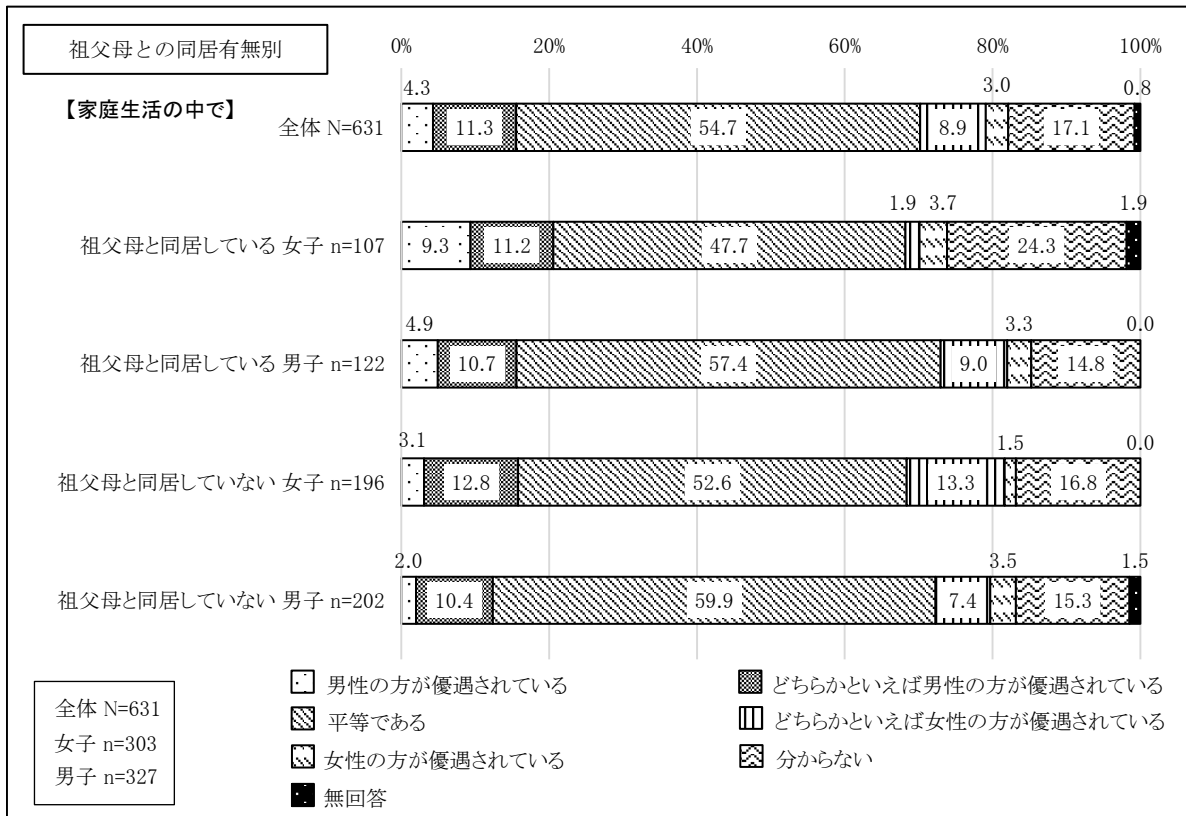


家庭生活の中での男女の地位の平等感についてみると、全体では「平等」が54.7%となっている。性別にみると、「平等」は女子50.8%、男子58.4%となっており、男子が女子を上回っている。市民意識調査の結果と比較すると、男女とも「平等」が市民意識調査の結果（女性35.1%、男性43.7%）よりも大幅に上回っている。

学校生活の中での男女の地位の平等感についてみると、全体では「平等」が57.1%となっている。性別にみると、「平等」は女子58.1%、男子56.0%となっており、女子が男子をやや上回っている。『女性優遇』（「女性の方が優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）が男子で23.9%みられる。市民意識調査の結果と比較すると、「平等」が女子は市民意識調査の結果（女性56.0%）よりやや高く、男子は市民意識調査の結果（男性60.5%）より低くなっている。

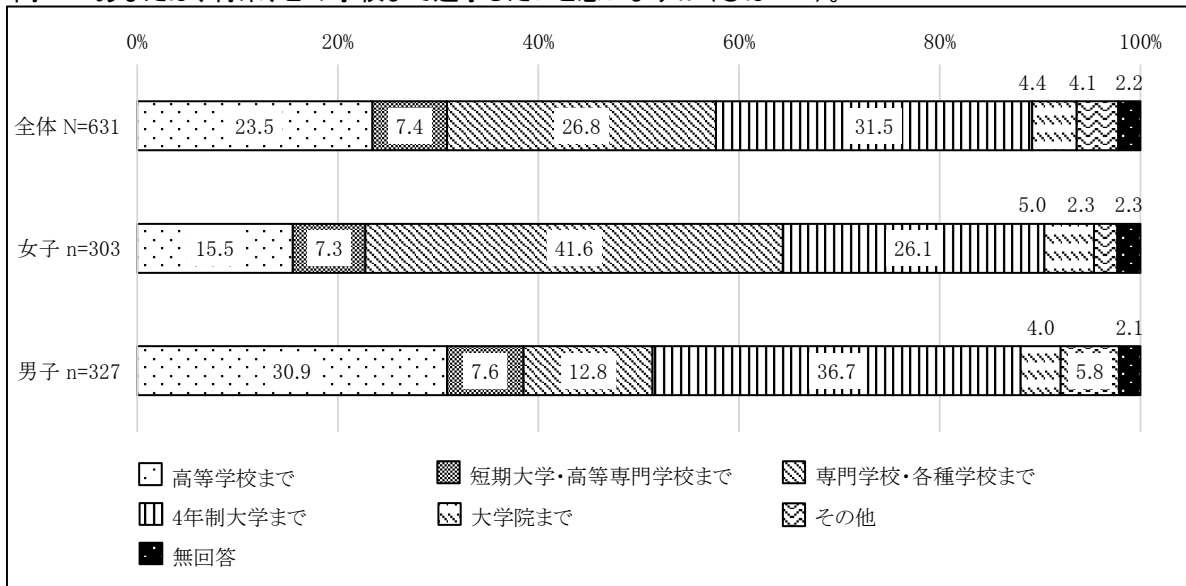
社会全体の男女の地位の平等感についてみると、全体では『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）が32.0%、「平等」が20.6%となっている。性別にみると、「平等」は女子19.1%、男子22.0%となっており、男子が女子をやや上回っている。市民意識調査の結果と比較すると、「平等」が女子は市民意識調査の結果（女性12.7%）より高く、男子は市民意識調査の結果（男性26.2%）より低くなっている。

問10 あなたは、今の社会で男女は平等になっていると思いますか。次の1～3それぞれの分野について、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください(○はそれぞれ1つ)。



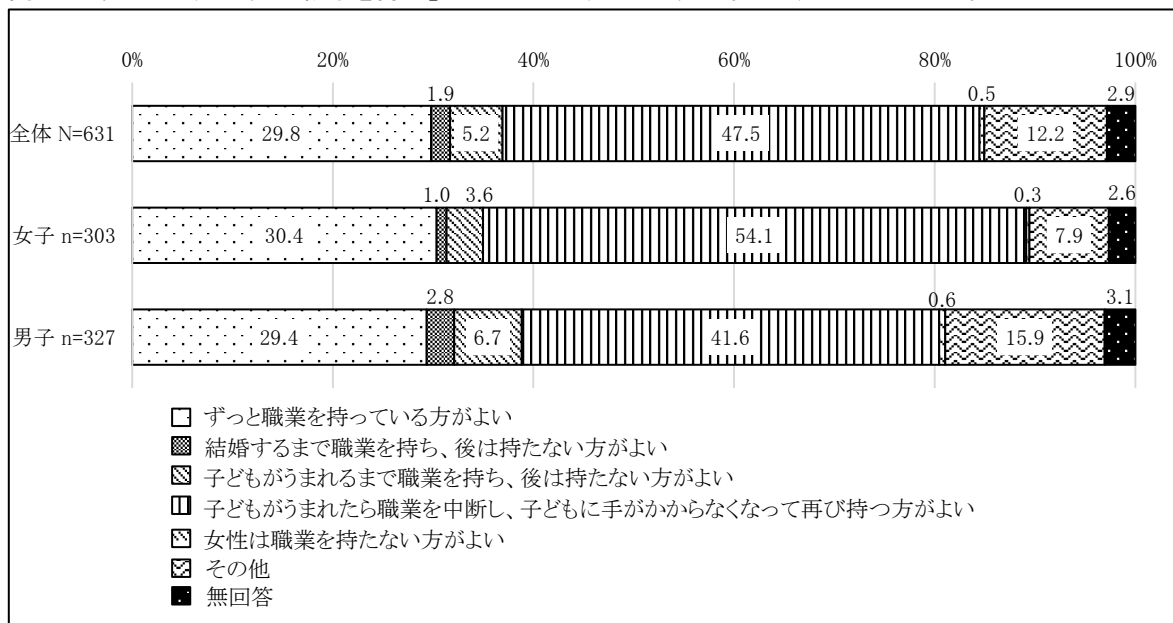
家庭生活の中での祖父母と同居の有無別にみると、「平等」は同居している女子47.7%、同居していない女子52.6%、同居している男子57.4%、同居していない男子59.9%と、男女ともに同居していない方が上回っている。

問11 あなたは、将来、どの学校まで進学したいと思いますか(○は1つ)。

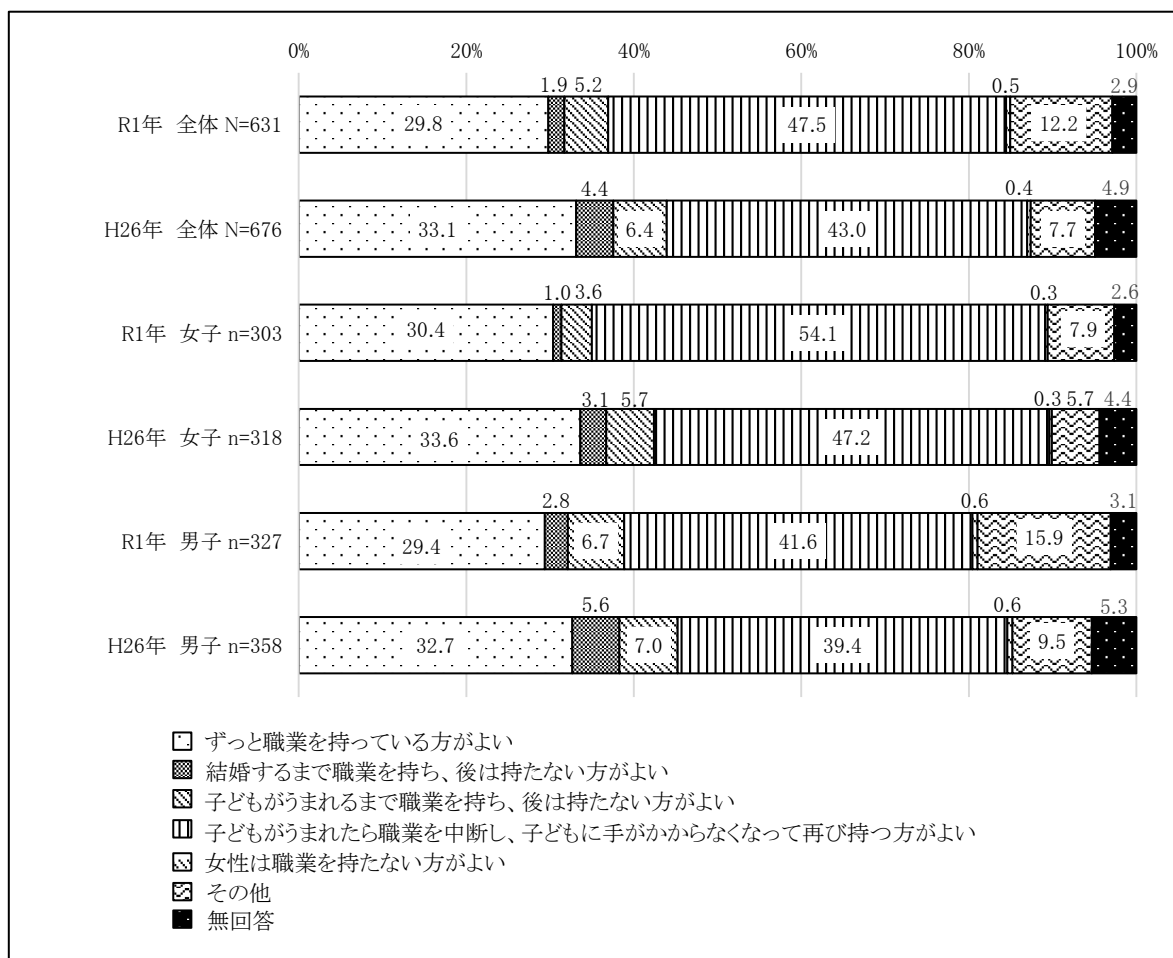


将来の進学希望についてみると、全体では「4年生大学まで」(31.5%)が最も高く、次いで「専門学校・各種学校まで」(26.8%)となっている。性別にみると、女子は「専門学校・各種学校まで」(41.6%)が最も高く、次いで「4年制大学まで」(26.1%)となっている。一方、男子は「4年制大学まで」(36.7%)が最も高くなっており、次いで「高等学校まで」(30.9%)となっており、女子の方が、高等学校卒業後の進学について希望が高くなっている。

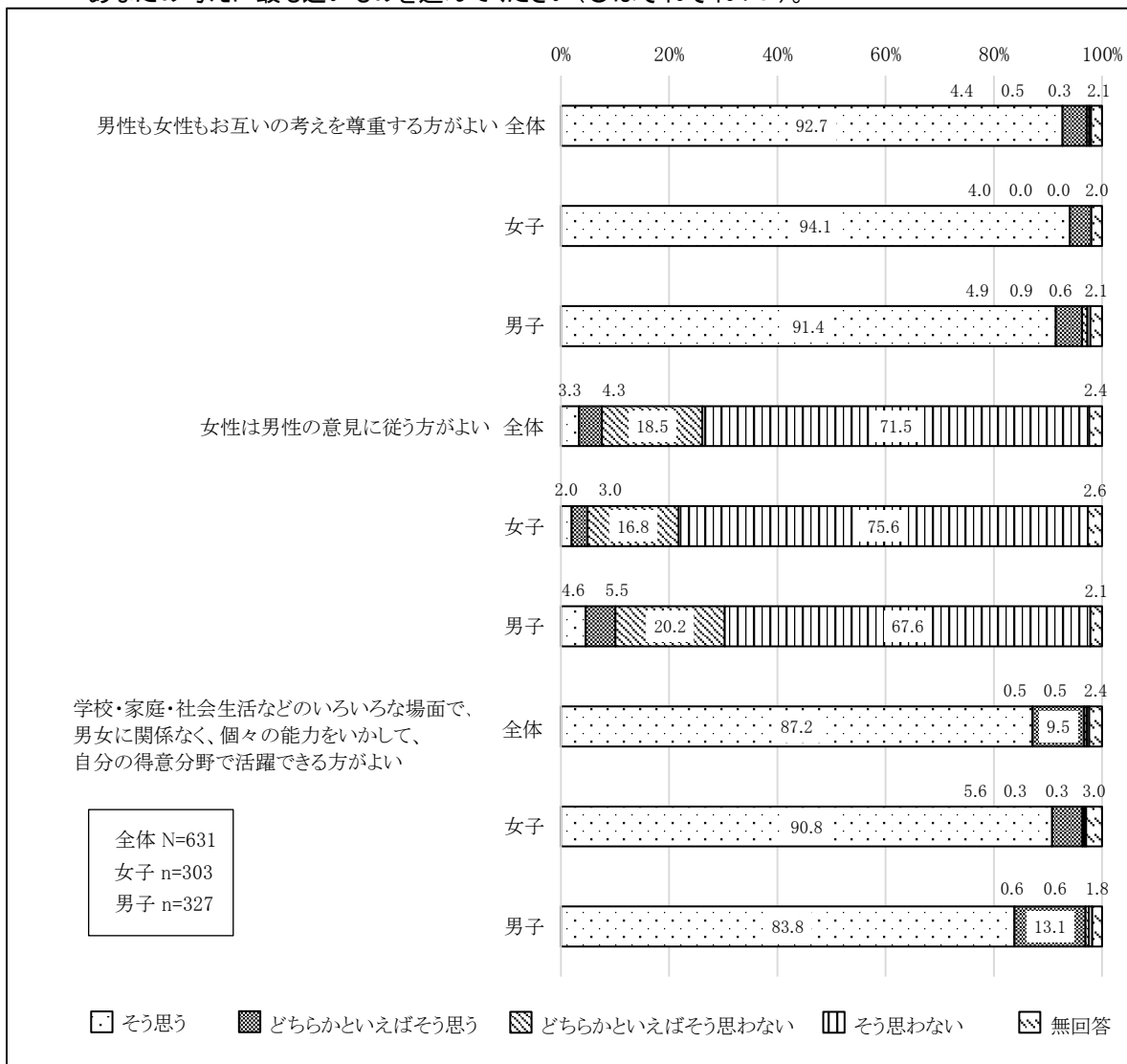
問12 あなたは、「女性が職業を持つ」ことについて、どのように考えますか(○は1つ)。



「女性が職業を持つ」ことについてみると、「子どもが生まれたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい」(47.5%)が最も高く、次いで「ずっと職業を持っている方がよい」(29.8%)となっている。性別にみると、「子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい」が女子54.1%、男子41.6%と、女子が男子を上回っている。市民意識調査の結果と比較すると、男女ともに「ずっと職業を持っている方がよい」が市民意識調査の結果(女性55.2%、男性47.2%)より低くなっている。



問13 あなたは、次のような考えについてどう思いますか。1～3それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください(○はそれぞれ1つ)。



男女の関係についてみると、「男性も女性もお互いの考えを尊重する方がよい」は、全体では『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が97.1%と高い割合になっている。性別にみると、『そう思う』が女子98.1%、男子96.3%と、女子の方が男子よりもやや上回っている。

「女性は男性の意見に従う方がよい」は、全体では『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）が90.0%と高い割合になっているが、『そう思う』が7.6%みられる。性別にみると、女子は『そう思わない』が92.4%と約9割を占めている。一方、男子は『そう思わない』が87.8%となっているが、『そう思う』が10.1%となっており、女子の5.0%を上回っている。

「学校・家庭・社会生活などのいろいろな場面で、男女に関係なく、個々の能力をいかして、自分の得意分野で活躍できる方がよい」は、全体では『そう思う』が96.7%と高い割合になっている。性別にみると、『そう思う』が女子96.4%に対して男子96.9%と、男子が女子をやや上回っているが、「そう思う」は女子90.8%、男子83.8%と、女子の方が男子よりも上回っている。